

# 学生生活実態調査報告書

令和元年度

学生支援実施委員会

国立大学法人 大阪教育大学

## 1 調査の目的

本学学生の生活実態を把握するとともに、本学に対する意見や要望等を聴取し、今後の学生生活や修学環境の改善を図っていくための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査項目

「基本事項」「課外活動について」「経済状況等について」「アルバイト(家庭教師を含む。)について」「健康・相談について」「国際交流について」「施設・環境について」「安全について」「学務関係事項について」「大学への要望・意見など」全部で61問。

## 3 学生の要望による主な改善内容(平成28年度以降)

平成28年度・課外教育施設「遠見山の家」の整備, 車いす対応公用車の購入, 神霜祭等屋外イベント支援のための設備整備, 学生支援用掲示板等の整備

平成29年度・キャリア支援センターの改修

【教育振興会】教採地方2次受験助成制度の新設

平成30年度・サークル等エアコン設置等内装工事

令和元年度・柏原キャンパス体育館整備

国立大学法人 大阪教育大学

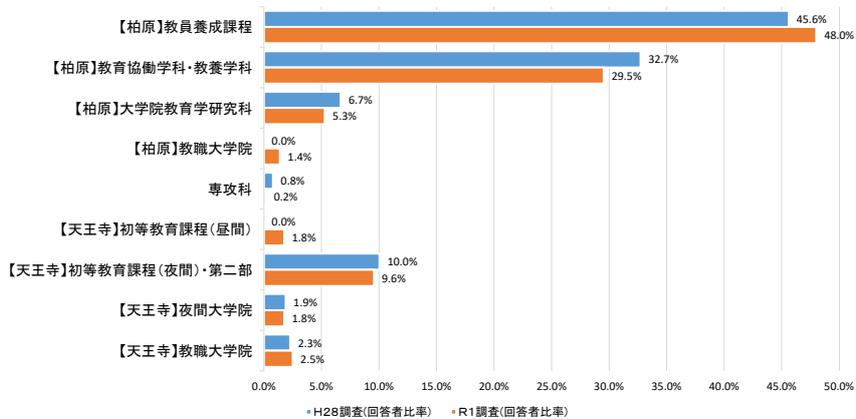
# 1 基本事項

- Q1 あなたの所属を教えてください。
- Q2 学年を教えてください。
- Q3 現在の住居について教えてください。

国立大学法人 大阪教育大学

## Q1 あなたの所属を教えてください。

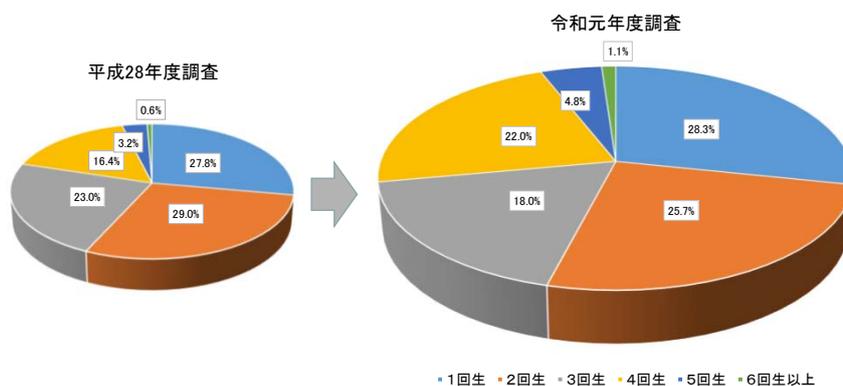
今回の調査より【天王寺】初等教育課程は昼間と夜間で回答項目が分けられているが、これを前回調査のように一項目と見なせば回答比率に変化はない。  
また、所属項目に「【柏原】教職大学院」が加わり、その割合は全体のうち1.4%であった。これに【柏原】大学院教育学研究科を加えると、前回平成28年度実施の調査における「大学院」の項目と比率がほぼ同率であった。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q2 学年を教えてください。

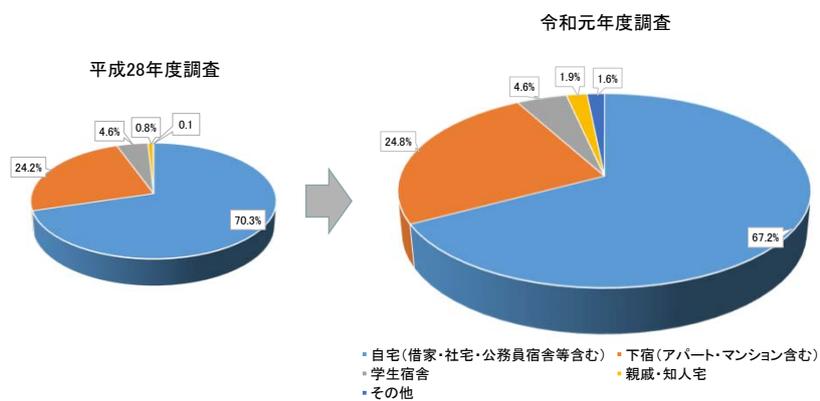
回答者の学年に関しては1, 2回生の回答率が高いのは前回調査と変わらないが, 4回生の回答が前回の16.4%から22.0%に割合が増えており, 順位も全体に入れ替わっている。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q3 現在の住居について教えてください。

学生の居住先については, 自宅, 下宿, 学生宿舎等において前回調査と比較して大きな変化は見られない。  
 なお, 親戚や知人宅に住み込み通学している学生が若干増えているものの, 学生の居住状況は大きな変化は来していない。



国立大学法人 大阪教育大学

## 2 課外活動 〔サークル活動について〕

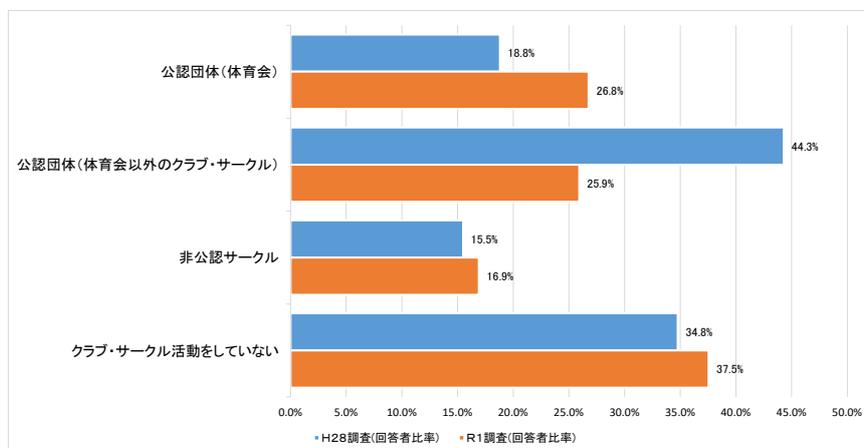
- Q4 大学で何かクラブ・サークル活動をしていますか。
- Q5 クラブ・サークル活動の主な加入の動機・目的
- Q6 1週間に何日クラブ・サークル活動をしていますか。
- Q7 自身におけるクラブ・サークルと学業との関係
- Q8 クラブ・サークル活動をしていない主な理由

国立大学法人 大阪教育大学

### Q4 大学で何かクラブ・サークル活動をしていますか。

7割近くの学生がクラブ・サークル活動に参加しており、参加割合は依然多い傾向にある。また、体育会への参加が2割を超え競技スポーツとして行う学生の割合の高さが浮き彫りになった。なお、不参加学生が3割を超えていることから、正課外教育を考え直す必要もある。

※複数回答

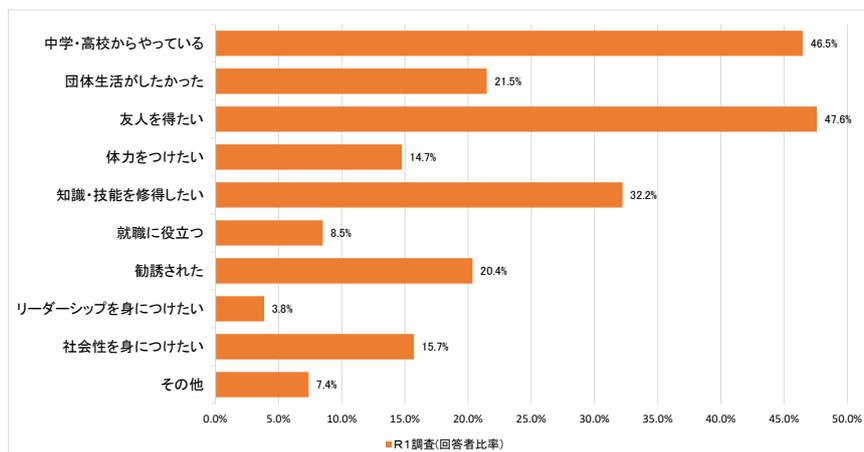


国立大学法人 大阪教育大学

### Q5 クラブ・サークル活動の主な加入の動機・目的

クラブ・サークル活動への参加の動機としては中学校高校からの継続(46.5%)や友人を得たい(47.6%)を理由に挙げる学生が半数近くになった。友人関係以外の2次的な理由を挙げる学生はそれほど多くはなく、本学学生の気質が伝わる結果となった。

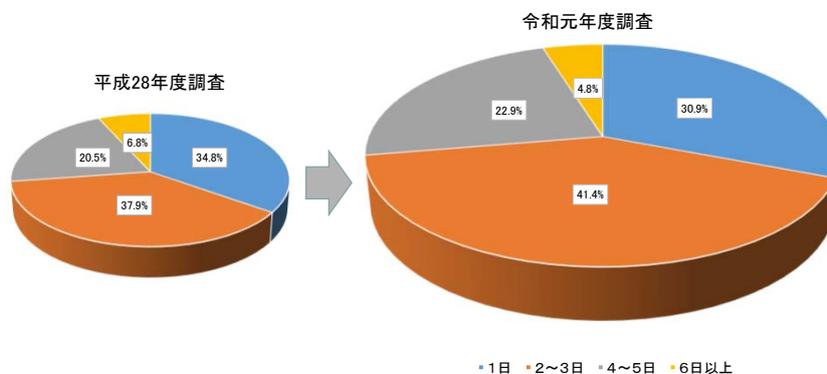
※複数回答



国立大学法人 大阪教育大学

### Q6 1週間に何日クラブ・サークル活動をしていますか。

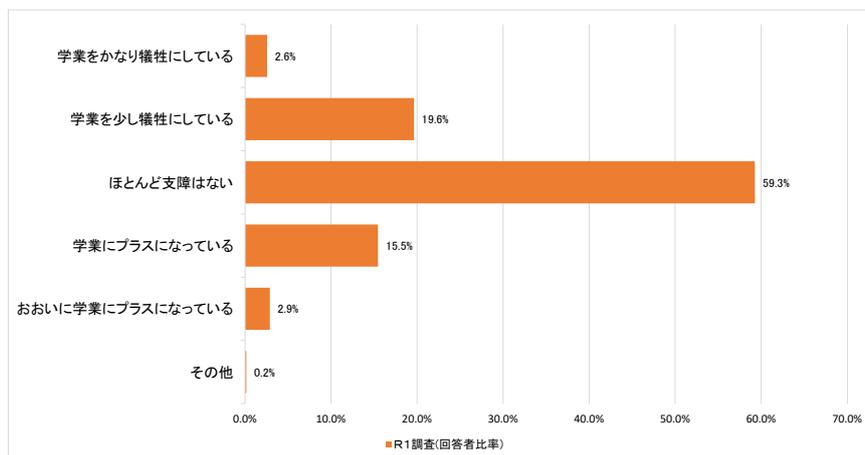
7割以上の学生が1週間当たり2～3日以内の活動を行っており、以前より少なくなっている傾向がある。後にも出てくる学業との両立などとも関係していると思われるが、過度にクラブ・サークル活動に時間を費やす学生は減ってきたと考えられる。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q7 自身におけるクラブ・サークルと学業との関係

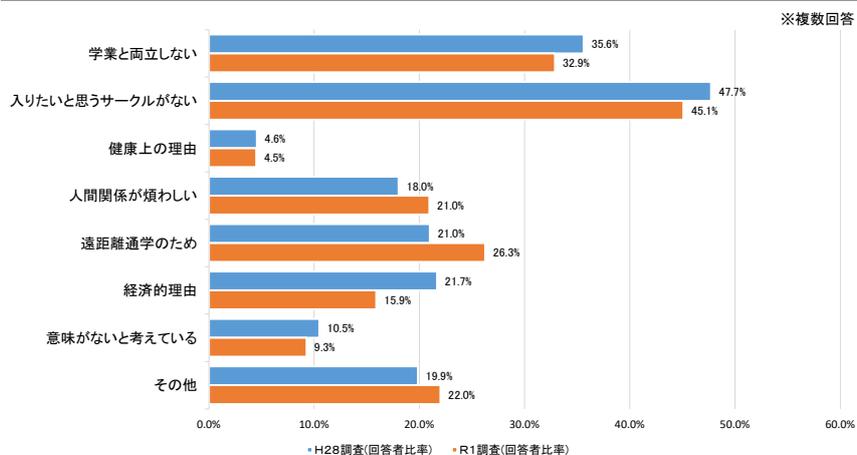
半分以上の学生が、学業との両立に支障はないと答えている一方、わずかではあるが学業をかなり犠牲にしている学生も存在している。正課外活動である以上、学業を犠牲にするのではなく、学業にも良い影響を与える形での参加を促していく必要があると考えられる。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q8 クラブ・サークル活動をしていない主な理由

課外活動への不参加学生はやりたい活動を行うサークルがないという理由が多く、多様化を補えるだけの活動が行われているとは考えにくい。両立しないと考えている学生が3割以上もいることから、クラブ・サークル活動のイメージも古いもので依然伝わっている可能性も考えられる。また、遠距離通学を理由に挙げる学生は若干ながら増えてきており、本学に通う学生の多様化が伺える。



国立大学法人 大阪教育大学

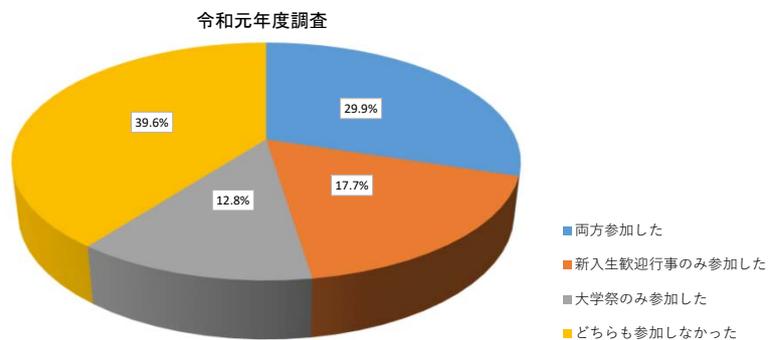
## 2 課外活動 〔新入生歓迎行事及び大学祭について〕

- Q9 新入生歓迎行事や大学祭に参加しましたか。  
Q10 新入生歓迎行事や大学祭などの学生行事をどのように考えていますか。

国立大学法人 大阪教育大学

### Q9 新入生歓迎行事や大学祭に参加しましたか。

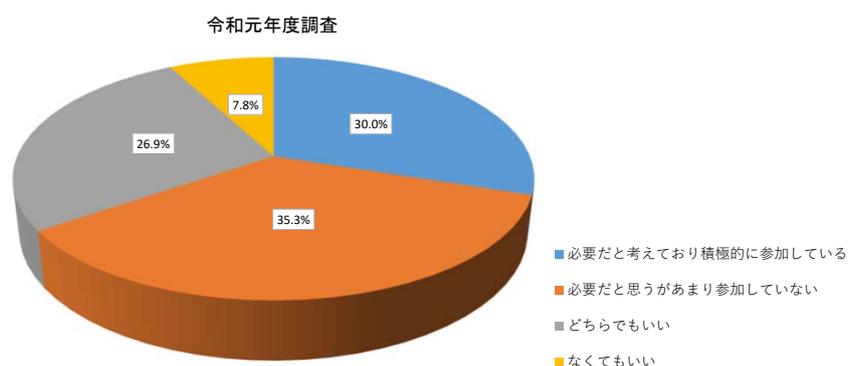
本学における大学祭の参加状況はそれほど多い結果とはならなかった。しかしながら学生の自主的活動の中心となるべきものであり、大学からのサポートはさらに必要になると考えられる。



国立大学法人 大阪教育大学

Q10 新入生歓迎行事や大学祭などの学生行事をどのように考えていますか。

6割以上の学生が必要を感じているにもかかわらず、そのうち半数はあまり参加していない。また、2割を超える学生がどちらでもいいという回答をしている。



国立大学法人 大阪教育大学

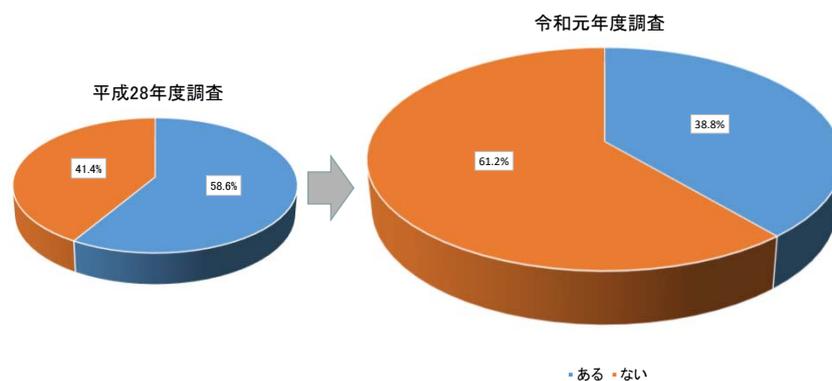
## 2 課外活動 〔ボランティア活動について〕

- Q11 大学入学後、授業以外でボランティア活動を行ったことがありますか。  
Q12 ボランティア活動で参加したことがあるものを教えてください。  
Q13 ボランティア活動をしようと思った主なきっかけは何ですか。  
Q14 ボランティア活動に従事した頻度を教えてください。  
Q15 ボランティア活動を行っていない理由を教えてください。  
Q16 「ボランティアデスク」について知っていますか。  
Q17 「ボランティアデスク」に期待することがあれば教えてください。

国立大学法人 大阪教育大学

### Q11 大学入学後、授業以外でボランティア活動を行ったことがありますか。

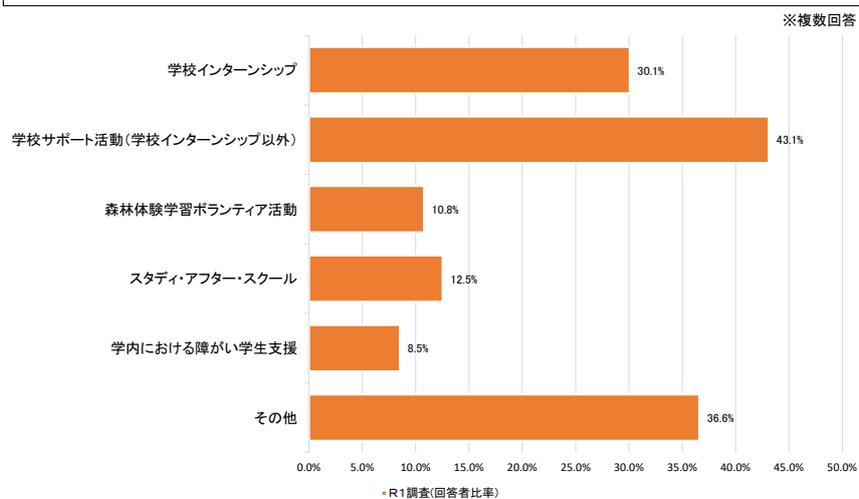
本学におけるボランティア活動への参加率は4割未満と少ない結果となった。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q12 ボランティア活動で参加したことがあるものを教えてください。

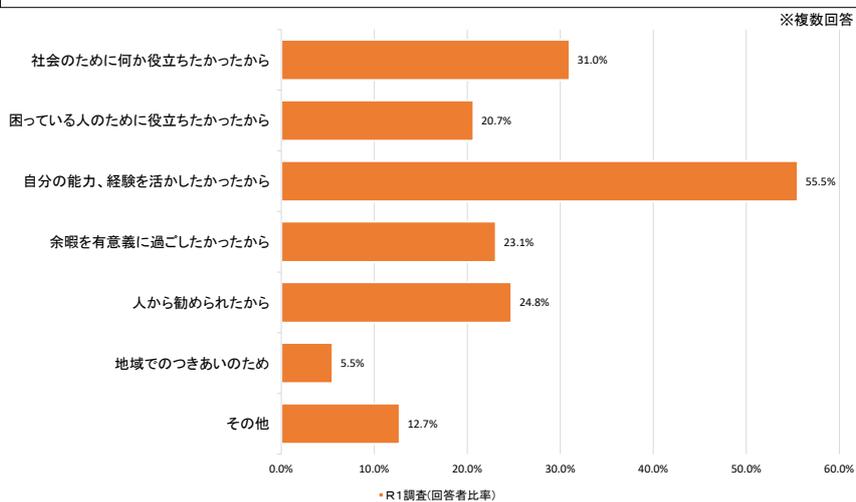
学校インターンシップが始まったことにより参加割合は多い傾向にあるが、その他の回答を見るに、本学の学生は非常に様々な種類のボランティア活動に参加している結果となった。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q13 ボランティア活動をしようと思った主なきっかけは何ですか。

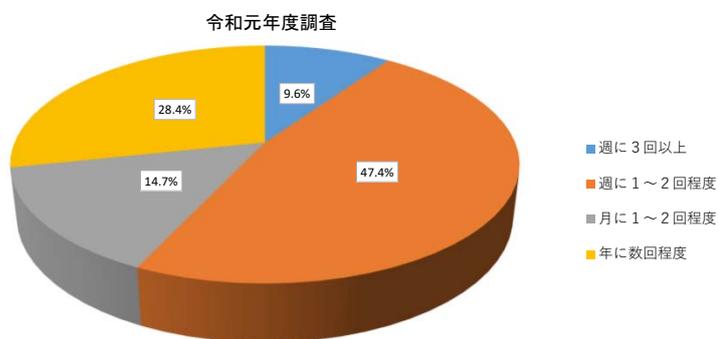
本学の学生自身の能力・経験を活かしたいと感じてボランティアを行った学生が半数以上おり、その他のものと合わせて社会貢献への意欲が高い結果となった。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q14 ボランティア活動に従事した頻度を教えてください。

週に1~2回程度と、定期的にボランティア活動を行っている学生が最も多く、ここ最近の学生は生活の一部としてボランティア活動を行っていることが伺える。

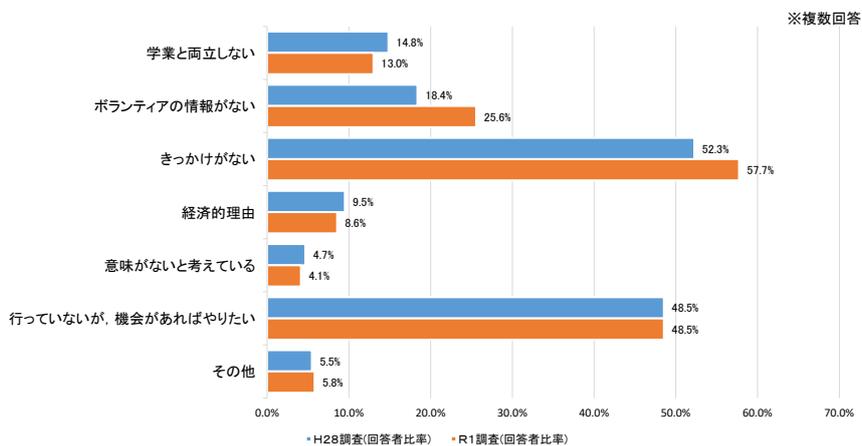


国立大学法人 大阪教育大学

### Q15 ボランティア活動を行っていない理由を教えてください。

ボランティア活動を行ってことがない学生の多い理由が「きっかけがない」「情報がない」であり、また、「機会があればやりたい」学生が多いことから、ボランティア活動に関する情報提供はより一層行っていく必要がある。

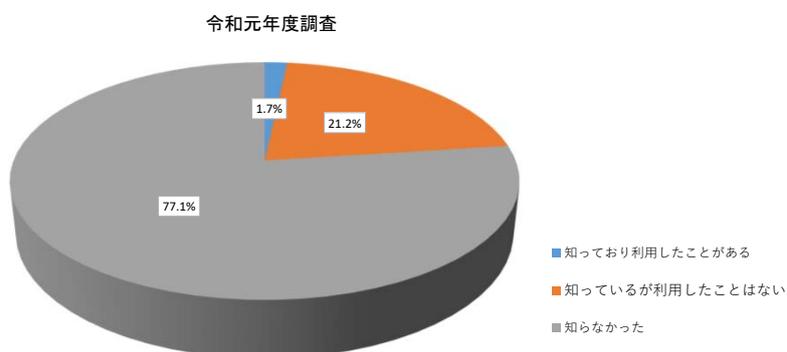
なお、調査結果については、同程度の回答となっていることから、平成28年度調査以降、情報提供に関する課題の改善がなされていないと考えられる。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q16 「ボランティアデスク」について知っていますか。

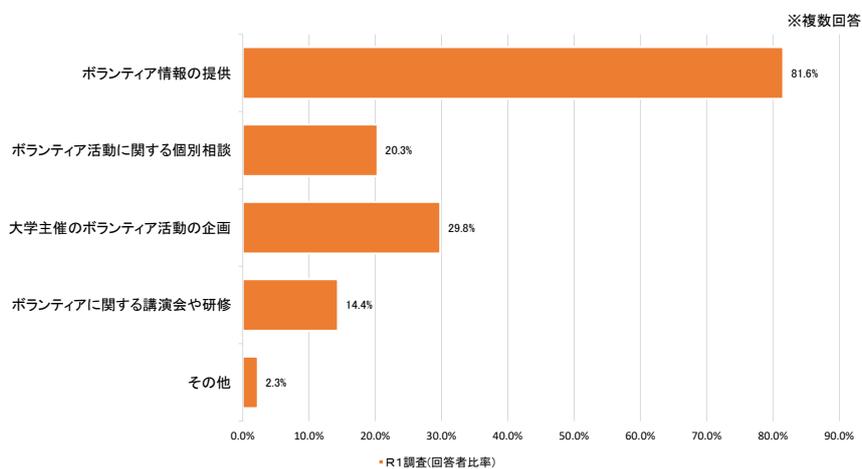
上記質問の回答でもあったように、ボランティア活動に関する情報提供にはまだ課題が残されている結果となった。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q17 「ボランティアデスク」に期待することがあれば教えてください。

この質問に対する回答からも、ボランティア活動に関する情報提供の必要性が伺える。また、大学や講座が主催したり、研修会を開いたりするようなボランティア活動につながる活動の必要性もある。ボランティア活動が盛んになれば相談件数も増えてくることが予想されることから、個別相談の機会も増やしていく必要がある。



国立大学法人 大阪教育大学

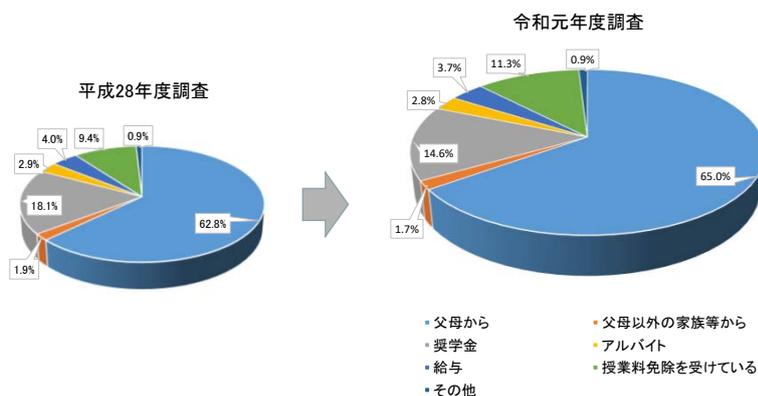
## 3 経済状況等

- Q18 主に授業料はどこから支払っていますか。
- Q19 主に授業に必要な図書費や教材費はどこから捻出していますか。
- Q20 主にサークル活動費や遊興費などはどこから捻出していますか。
- Q21 奨学金を申請しない理由はどれですか。
- Q22 授業料免除を申請しない理由はどれですか。
- Q23 授業料免除・奨学金を受けることで役に立ったと思うことは。

国立大学法人 大阪教育大学

### Q18 主に授業料はどこから支払っていますか。

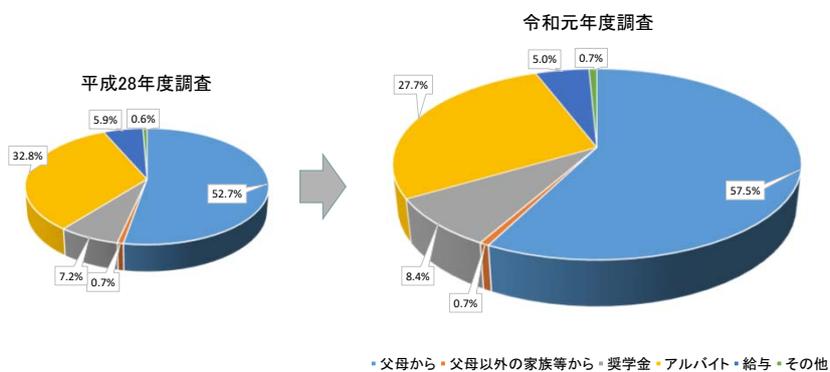
授業料の支払いについて、主に父母からが65%で最多あった。一方で、奨学金から（14.6%）と授業料免除（11.3%）を合わせると全体の1/4（約25%）にあたった。この値がここ数年でどのような経緯を示しているのか、継続的に検討する必要がある。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q19 主に授業に必要な図書費や教材費はどこから捻出していますか。

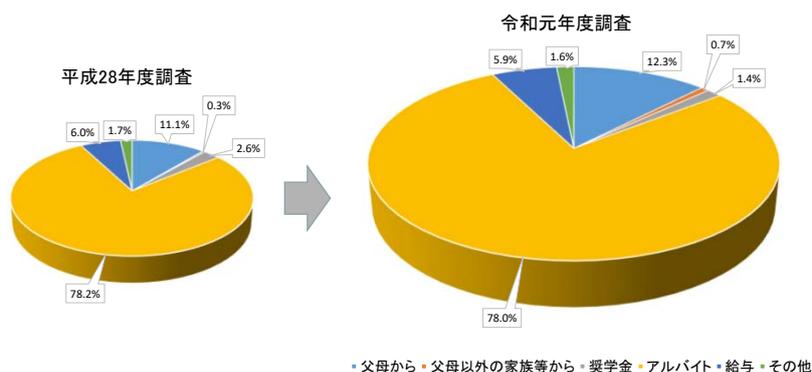
授業に必要な図書・教材費について、父母からが57.5%であった。一方、自分自身で捻出するアルバイト（27.7%）、給与（5%）と奨学金（8.4%）が約40%であった。この比率については、実際の費用が増加しているのか、実情を踏まえた検討の余地がある。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q20 主にサークル活動費や遊興費などはどこから捻出していますか。

学生の活動に関わる経費について、アルバイト（78%）と給与（5.9%）、奨学金（1.4%）で約85%となり、自分自身でその費用を捻出していることが伺える。

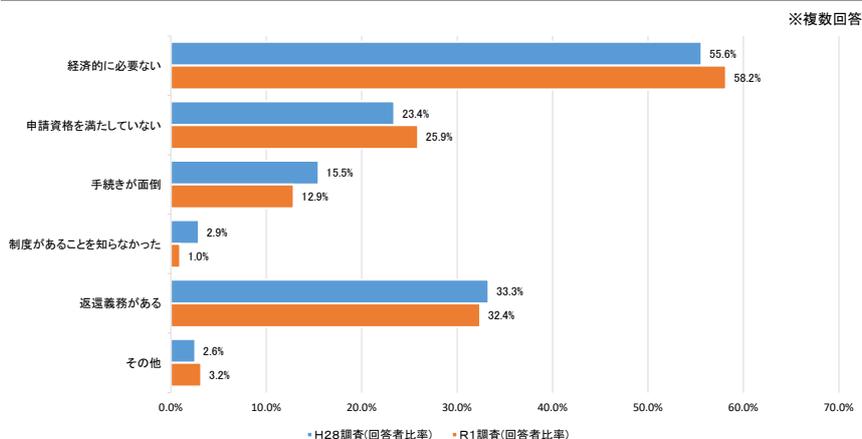


国立大学法人 大阪教育大学

### Q21 奨学金を申請しない理由はどれですか。

学生の就学機会を保障するためには、ここ数年の経済動向と合わせて、学生自身をとりまく経済状況を検討することが求められる。

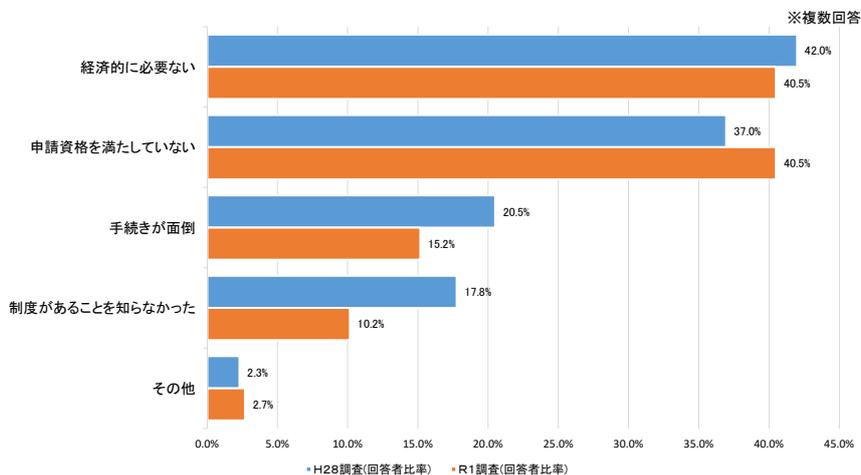
奨学金を申請しない理由としては「経済的に必要がない」「申請資格を満たしていない」で約84%ある一方で「手続きが面倒」も約13%あった。「返済義務」を考慮した際に、やはりその後に申請したケースなどについて追跡検証することも有効だと考えられる。



国立大学法人 大阪教育大学

## Q22 授業料免除を申請しない理由はどれですか。

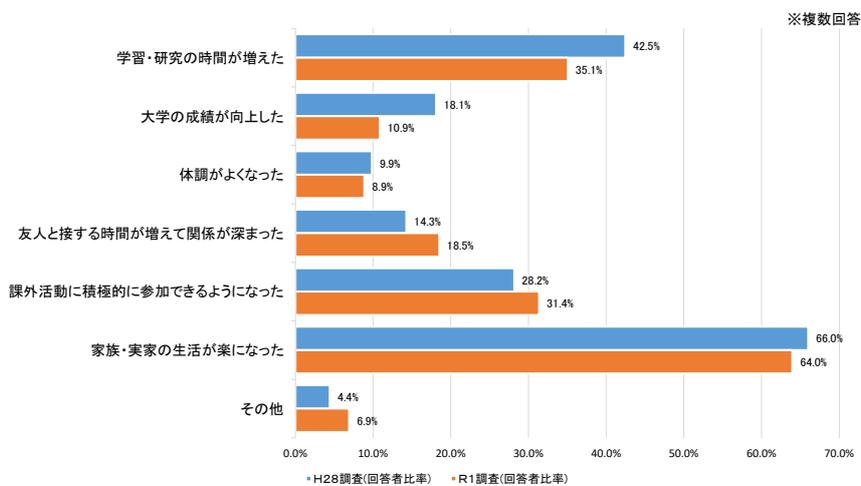
授業料免除の申請をしない理由については、「経済的に必要がない」「申請資格を満たしていない」が大部分をしめ、前回調査以降、経済状況がよくなっていることが考えられる。また、「制度への理解不足」やその他の意見として「親の意向」などが挙げられる。



国立大学法人 大阪教育大学

## Q23 授業料免除・奨学金を受けることで役に立ったと思うことは。

授業料免除と奨学金については、家計への負担減が挙げられた。その良い影響として、アルバイト等への時間を低減させ、学生自身の時間の確保があり、部活動や友人との交友時間の増加が挙げられた。



国立大学法人 大阪教育大学

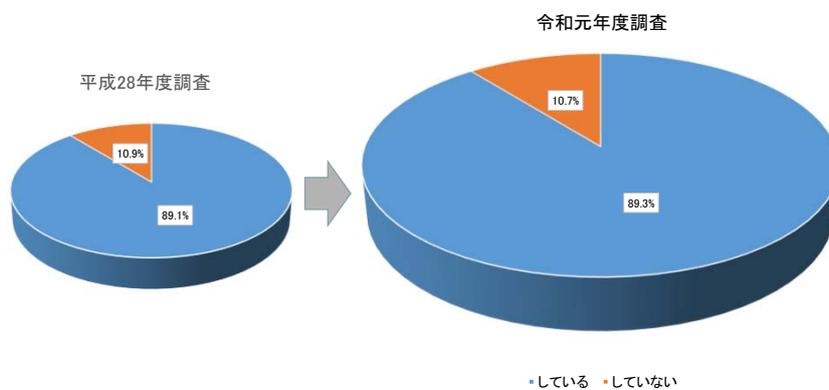
## 4 アルバイト

- Q24 現在アルバイトをしていますか。
- Q25 学業とアルバイトは両立していますか。
- Q26 主なアルバイトの紹介先はどこですか。
- Q27 1週間に何日アルバイトをしていますか。
- Q28 1ヶ月のアルバイトの収入はおおよそいくらくらいですか。
- Q29 アルバイトで得たお金の使い道は。
- Q30 アルバイトの量を増やしたいですか、減らしたいですか。

国立大学法人 大阪教育大学

### Q24 現在アルバイトをしていますか。

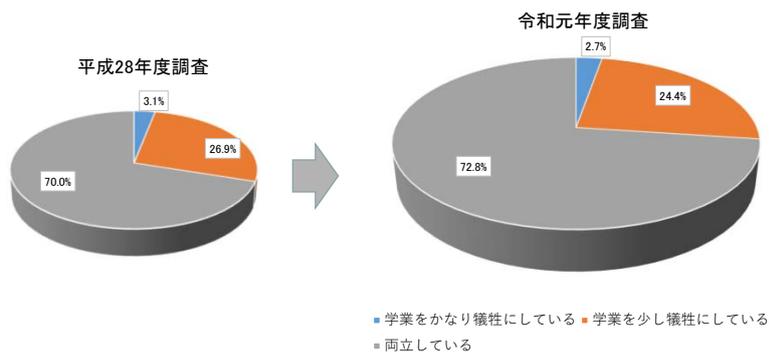
学生はアルバイトをせずに学業に専念できることが望ましい。しかし、実際には多くの学生が経済をアルバイトに頼っているのが現実であり、かなりの学生にとってはアルバイトが実質的に学生生活の一部になっていると言える。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q25 学業とアルバイトは両立していますか。

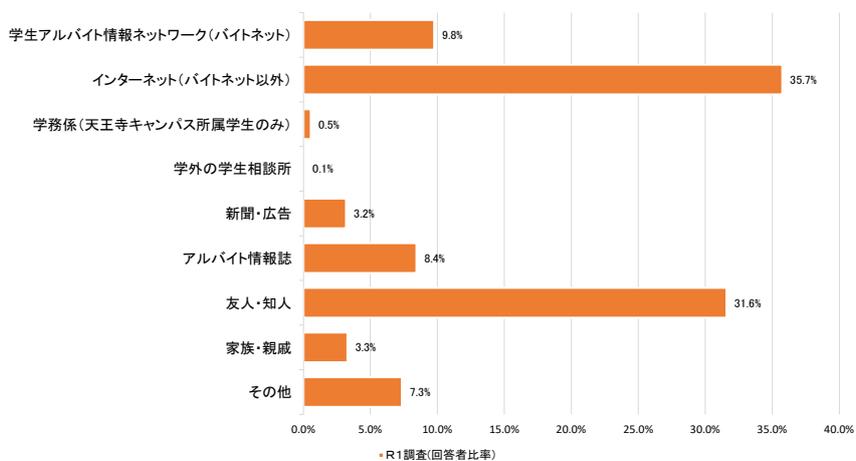
アルバイトをしている学生のうち、学業を「かなり犠牲にしている」と「少し犠牲にしている」を選んだ回答は合計で約3割、学業と「両立している」と回答した学生は約7割である。一方で、アルバイトに頼る学生生活には「何が学生の本文なのか」が本末転倒になってしまう危険性も伴う。特に、作業が深夜に及ぶようなアルバイトを連日行っている場合は、この危険性は増大する。この点も含めて、教員はどのように学生の生活面も含めた指導を行っていけば良いのかを考えるのが今後の課題である。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q26 主なアルバイトの紹介先はどこですか。

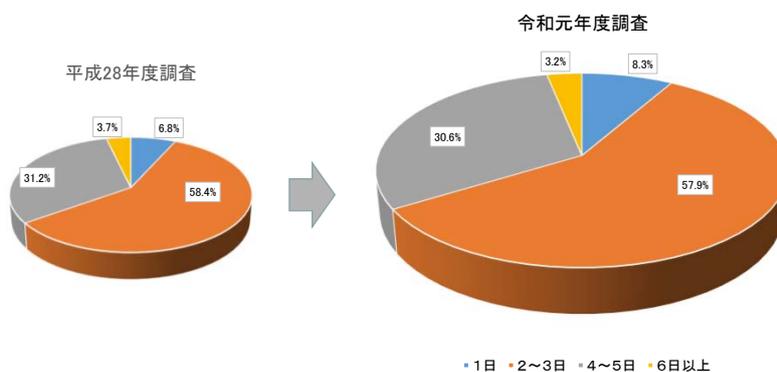
アルバイトの紹介先については、最も多かった回答は「インターネット」「友人・知人」で約7割である。平成31年1月からアルバイト紹介業務を移行した「学生アルバイト情報ネットワーク」での紹介は約1割である。



国立大学法人 大阪教育大学

Q27 1週間に何日アルバイトをしていますか。

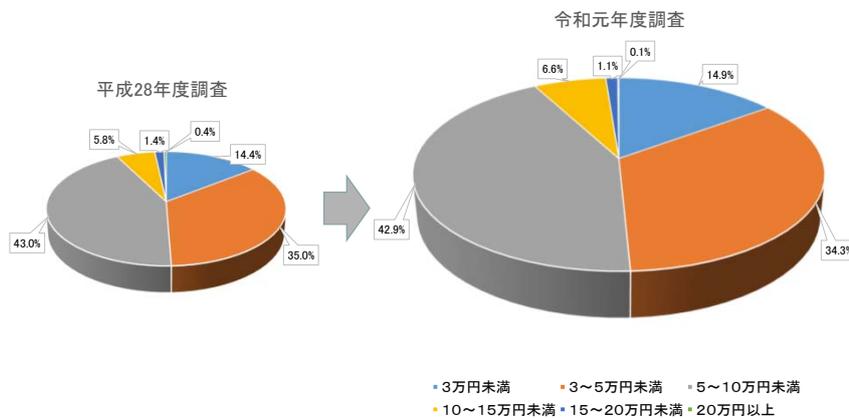
1週間の内でアルバイトをしている日数については、2～3日は約6割になる。



国立大学法人 大阪教育大学

Q28 1ヶ月のアルバイトの収入はおおよそいくらくらいですか。

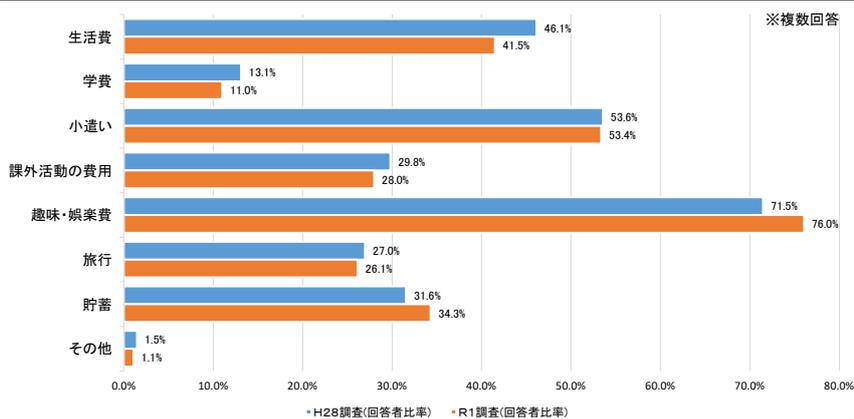
アルバイトによる学生の月収については、約9割は10万円未満であった。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q29 アルバイトで得たお金の使い道は。

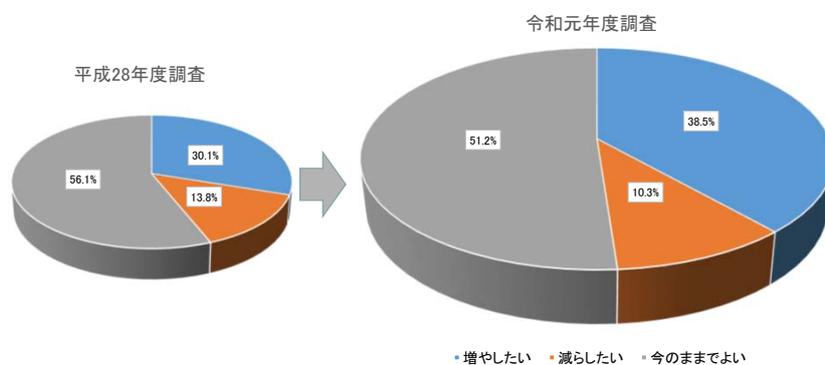
アルバイトで得たお金の使い道については、「趣味・娯楽費」「小遣い」「貯蓄」で占めているが、約4割を占める「生活費」については下宿をしている学生の保護者の多くにとっては、住居費を含む生活費の支給で精一杯になるのではないかと考えられる。  
 また、サークル活動等は、その種類によっては多大な費用がかかり、多くの場合は保護者（主に親）からの学費援助によって成り立たせているが、一般論として保護者からの学費援助は学業以外（サークル活動等）にかかる諸費用は考慮されていないと思われる。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q30 アルバイトの量を増やしたいですか、減らしたいですか。

アルバイトの量については、「今のままでよい」は約5割、「増やしたい」は約4割弱、「減らしたい」は約1割となる。  
 アルバイトの量を増やしたい学生については、アルバイトに頼ることで「何が学生の本文なのか」が本末転倒になってしまう危険性も伴う。



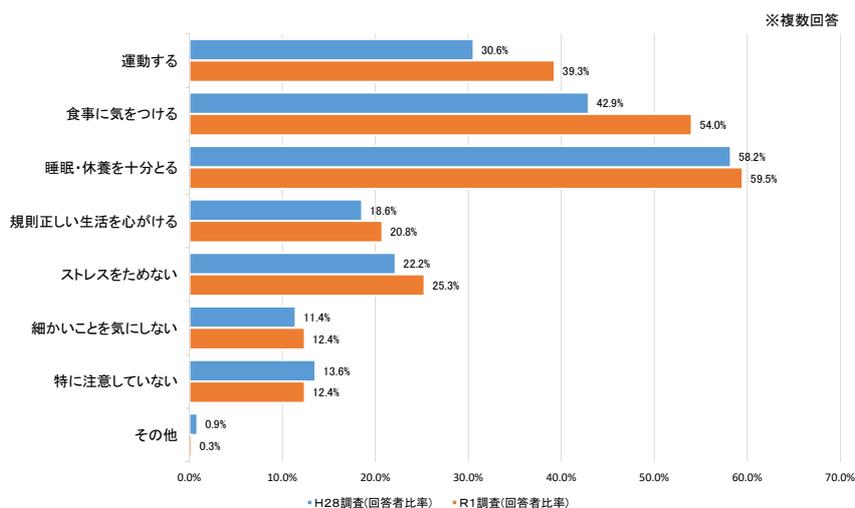
国立大学法人 大阪教育大学

## 5 健康・相談について

- Q31 健康のために特に心がけていることは。
- Q32 睡眠時間は平均何時間ですか。
- Q33 何か心配事や悩みはありますか。
- Q34 あなたは、自分の指導教員を知っていますか。
- Q35 心配事や悩みがあった時は、誰に(どこに)相談したいですか。
- Q36 大学の相談窓口を知っていますか。
- Q37 大学の相談窓口を利用したことがありますか。
- Q38 あなたは、現在の学生生活に満足していますか。
- Q39 「やや不満である」「不満である」の理由を教えてください。

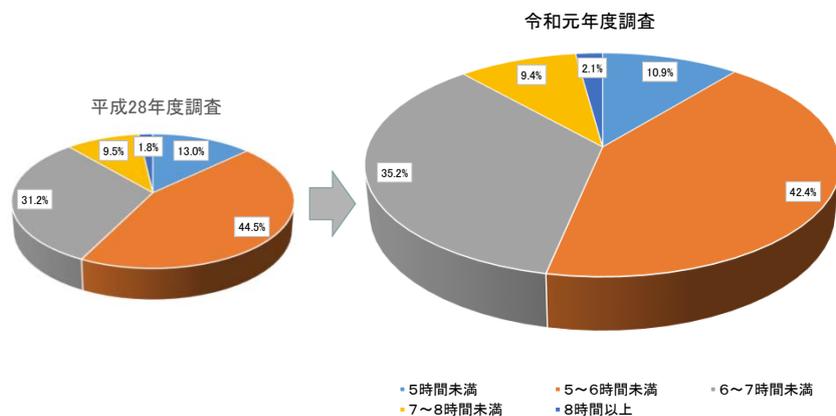
国立大学法人 大阪教育大学

### Q31 健康のために特に心がけていることは。



国立大学法人 大阪教育大学

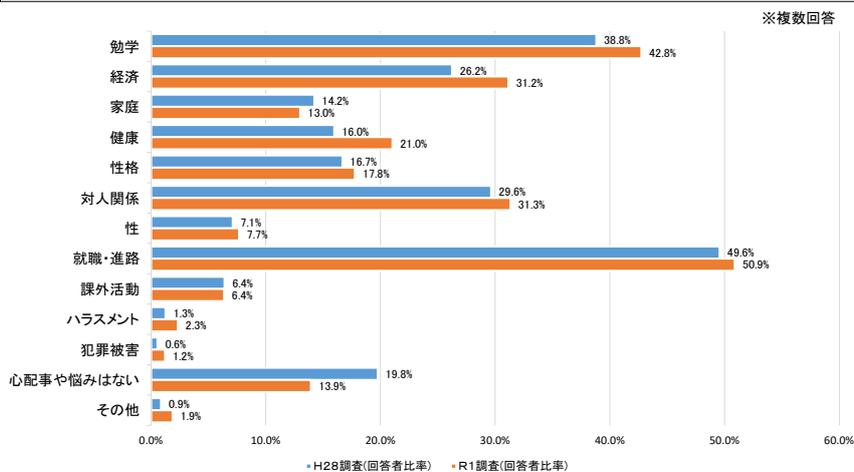
### Q32 睡眠時間は平均何時間ですか。



国立大学法人 大阪教育大学

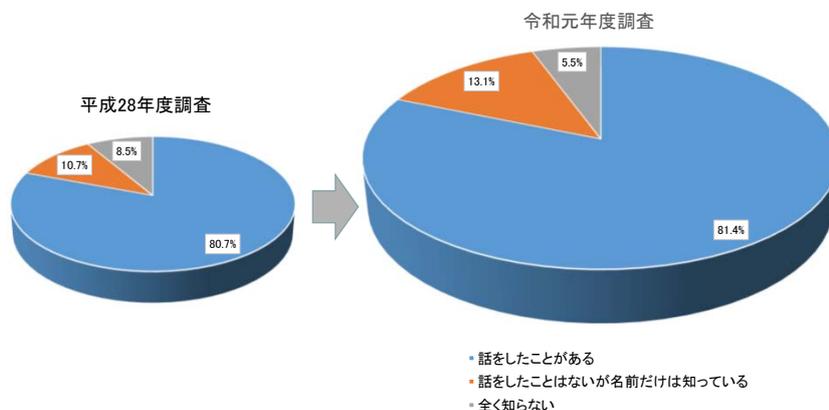
### Q33 何か心配事や悩みはありますか。

大きな傾向としては変化はないが、経済的な不安を抱える学生が増加傾向にあることには注意が必要であると思われる。また、前回の調査と比較すると「ハラスメント」や「犯罪被害」への悩みや心配事があると回答している学生が増加しているのが気になる。



国立大学法人 大阪教育大学

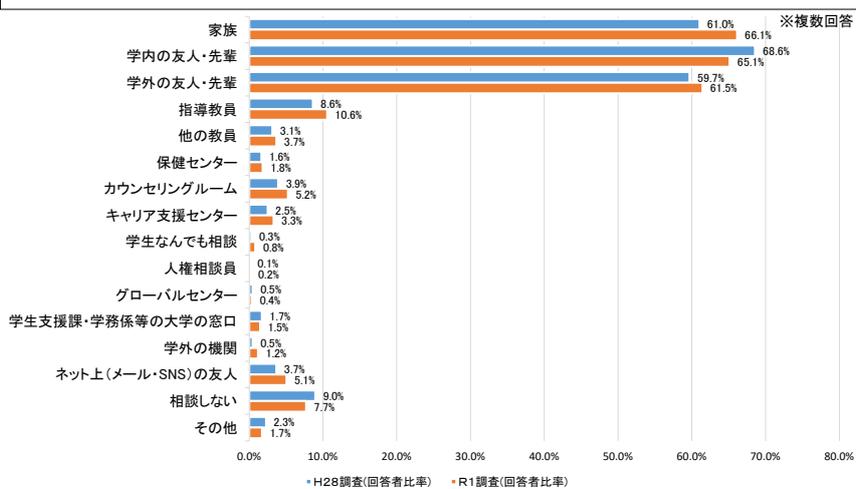
Q34 あなたは、自分の指導教員を知っていますか。



国立大学法人 大阪教育大学

Q35 心配事や悩みがあった時は、誰に(どこに)相談したいですか。

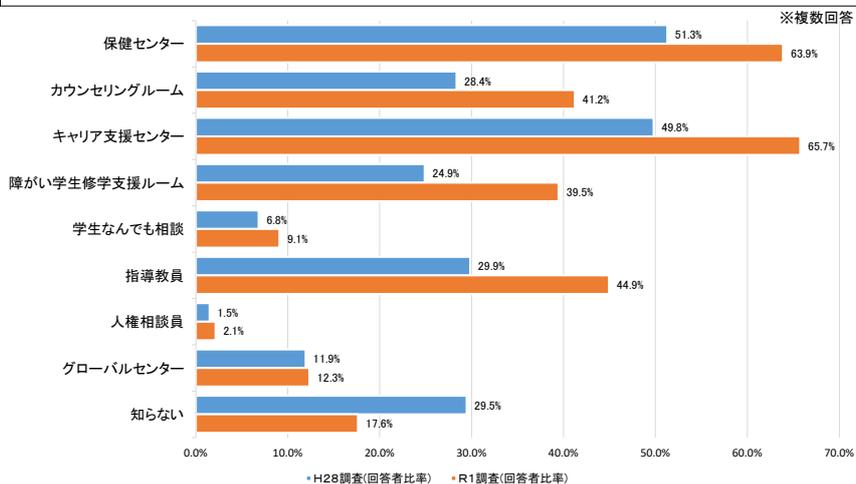
半数を超える学生は何かあった時には家族や友人に頼っている現状が浮き彫りになったと言えよう。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q36 大学の相談窓口を知っていますか。

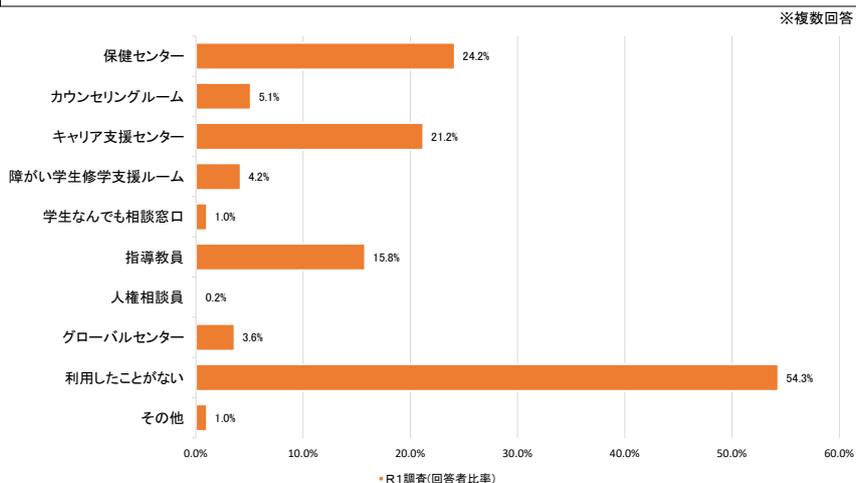
相談窓口の存在そのものは認知されてきていると思われる。その結果、相談窓口を知らない学生が29.5%から17.6%へと減少したことは評価できる。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q37 大学の相談窓口を利用したことがありますか。

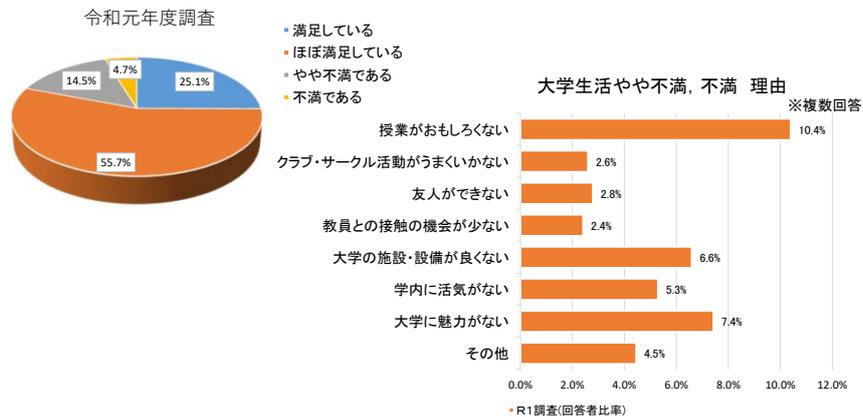
Q36で相談窓口の存在を知らない学生の割合が減少しているにも関わらず、半数を超える学生が大学の相談窓口を利用していない。何かあった時には家族や友人に頼っている現状(Q35)から、大学の相談窓口を利用する必要があるにもかかわらず利用していないなら、改善が必要である。



国立大学法人 大阪教育大学

Q38 あなたは、現在の学生生活に満足していますか。  
 Q39 「やや不満である」「不満である」の理由を教えてください。

8割以上の学生が、学生生活について概ね満足しているのは評価できる。しかし、不満の原因が個人に帰すると考えられる回答はともかく、教職員を含めた大学全体として一考を要するような内容も含まれており、それらに対しては真摯に向き合う必要があると思われる。



国立大学法人 大阪教育大学

## 6 国際交流について

- Q40 留学生と[留学生の方は日本人と]交流していますか。  
 Q42 交換留学, 海外語学研修・文化研修に行ってみたいですか。  
 Q43 交換留学, 語学研修・文化研修を断念した理由を教えてください。  
 Q44 交換留学に行くとしたら, どのような条件, サポートが必要ですか。

(Q41(自由記述) 省略)

国立大学法人 大阪教育大学

Q40 留学生と[留学生の方は日本人と]交流していますか。



- ・留学生チューター制度により交流している
- ・外国語学習支援ルームでの留学生とのチャットにより交流している
- ・レジデンスアシスタント(RA)制度により交流している
- ・交流したいが機会がない
- ・交流していない

国立大学法人 大阪教育大学

Q42 交換留学, 海外語学研修・文化研修に行ってみたいですか。

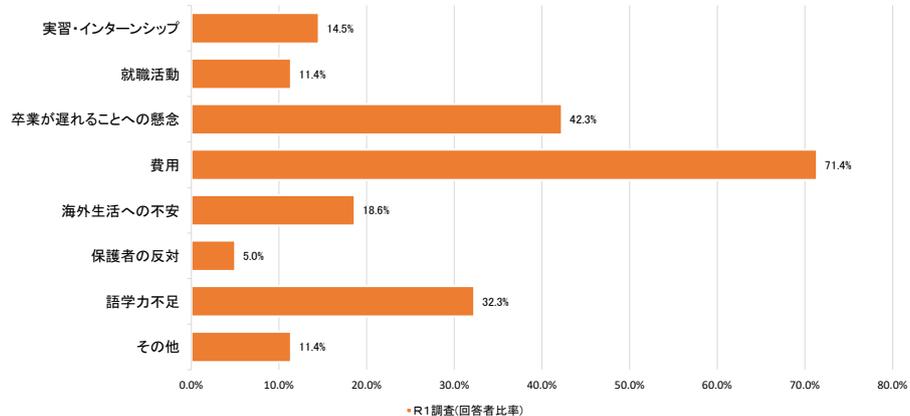


- ・交換留学, 語学研修・文化研修ともに行ってみたい
- ・交換留学に行ってみたい
- ・語学研修・文化研修に参加してみたい
- ・すでに参加したことがある
- ・交換留学, 語学研修・文化研修に行きたかったが断念した
- ・交換留学, 語学研修・文化研修ともに関心がない
- ・交換留学, 語学研修・文化研修ともに行きたくない

国立大学法人 大阪教育大学

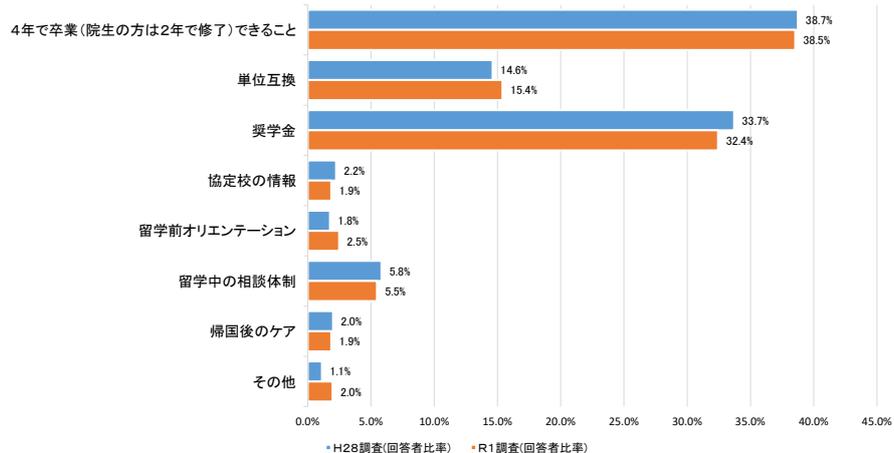
Q43 交換留学, 語学研修・文化研修を断念した理由を教えてください。

※複数回答



国立大学法人 大阪教育大学

Q44 交換留学に行くとしたら, どのような条件, サポートが必要ですか。



国立大学法人 大阪教育大学

## 7 施設・環境について

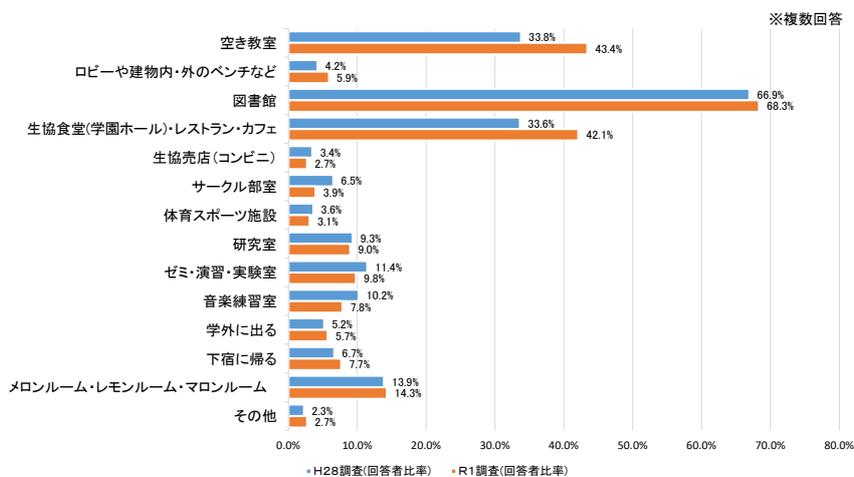
Q49 急な休講や時間割の空き時間はどこで過ごしていることが多いですか。

(Q45～Q48(生協・食堂等に関する項目)及びQ50(自由記述) 省略)

国立大学法人 大阪教育大学

Q49 急な休講や時間割の空き時間はどこで過ごしていることが多いですか。

最も多かったのは図書館であり、空き教室や生協食堂等が続いている。全体的な傾向については、前回の調査と同様であるが、特に空き教室や生協食堂等の利用率については、今回の調査結果は前回の結果と比較すると、いずれも10%近く高くなっていた。



国立大学法人 大阪教育大学

## 8 安全について

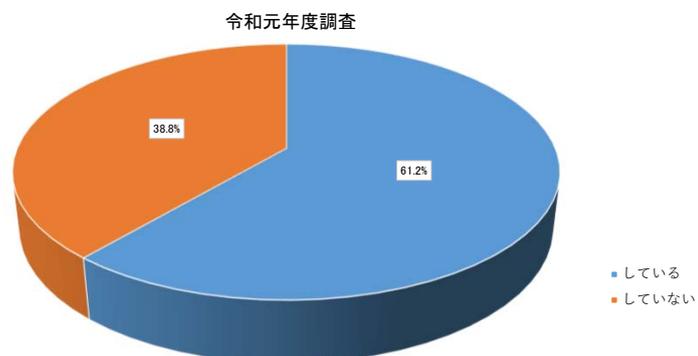
- Q51 車両入構許可申請はしていますか。
- Q52 車両入構許可申請をしていない理由を教えてください。
- Q53 SNSを利用してトラブルに遭ったことがありますか。
- Q55 キャンパス内で被害にあったことがありますか。
- Q56 キャンパス内でどのような被害にあいましたか。

(Q54及びQ57(自由記述) 省略)

国立大学法人 大阪教育大学

### Q51 車両入構許可申請はしていますか。

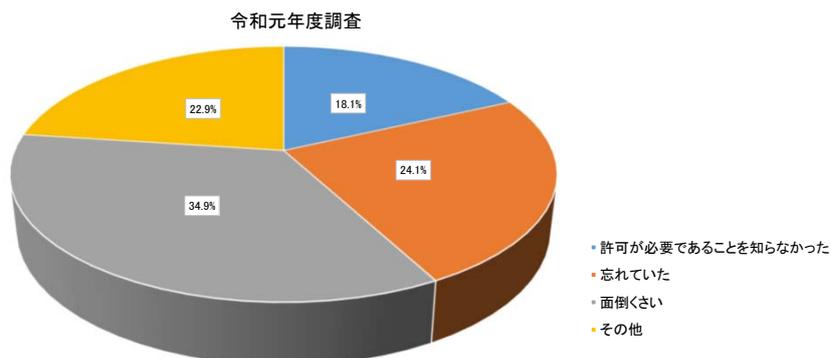
車両入構許可を得ていた学生の割合は61%で、車両入構許可申請の必要性の周知が進んできたと言える。しかし、入構許可を取得していない学生がまだ4割近くいることを考えると、さらなる対策を講じる必要がある。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q52 車両入構許可申請をしていない理由を教えてください。

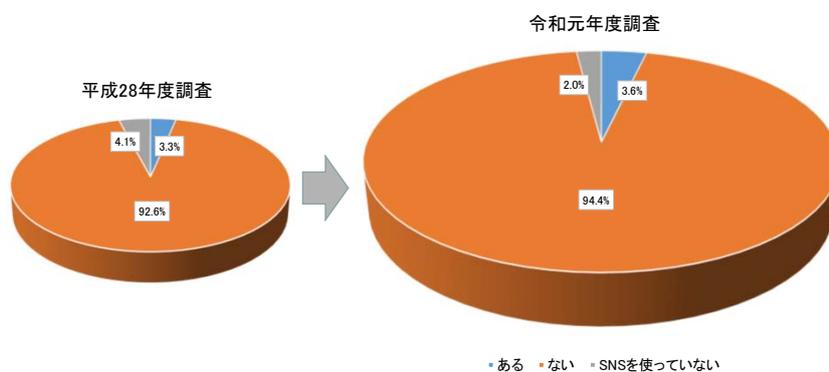
入講許可申請をしていない理由については、「面倒くさい」が35%と最も多く、次いで「忘れていた」が24%であった。「許可が必要であることを知らなかった」という回答の割合は18%であることを考えると、周知自体はある程度はされているものの、それだけでは不十分であることが伺える。入講許可の取得率を上げるためには、申請の機会を多く設けたり、窓口を目につきやすいところに設置するなど、申請のハードルを下げる工夫が必要かもしれない。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q53 SNSを利用してトラブルに遭ったことがありますか。

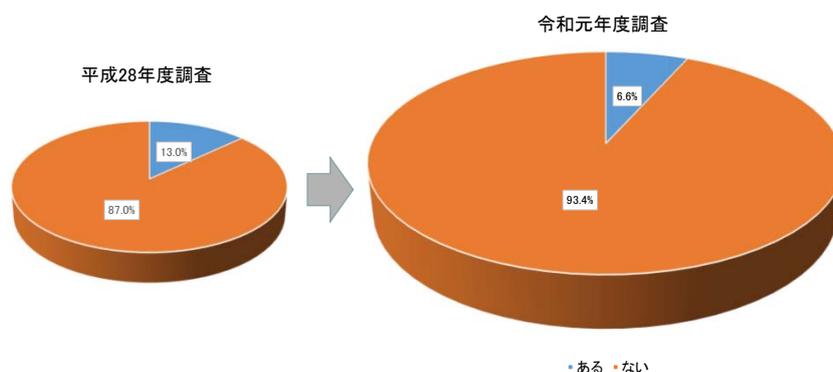
SNSを利用してトラブルにあったことがあると回答した学生の割合は3.6%であり、平成28年度の調査結果とほぼ同程度であった。また、SNSを使っていないと回答した人は2.0%であり、前回調査結果の4.1%に比べて少なく、より多くの学生がSNSを利用していることが伺える。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q55 キャンパス内で被害にあったことがありますか。

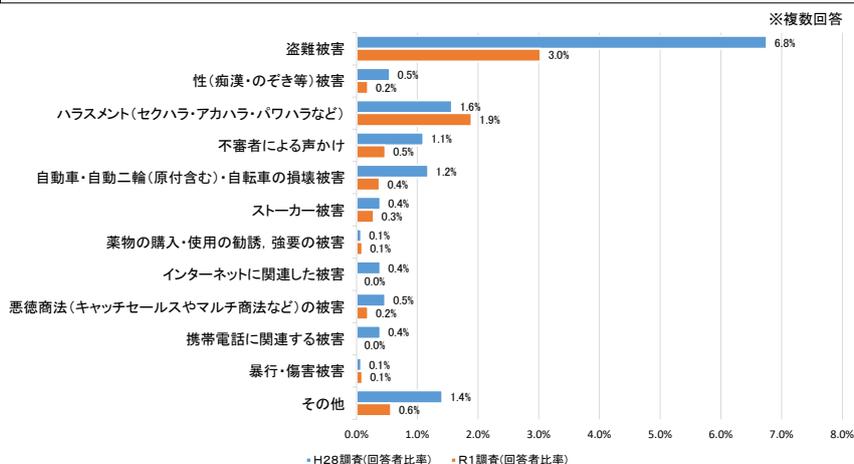
キャンパス内での被害について、被害にあったことがないと回答した学生の割合は93.4%であり、平成28年度調査の87%よりも高くなっている。



国立大学法人 大阪教育大学

### Q56 キャンパス内でどのような被害にあいましたか。

被害件数全体では盗難被害が3%と最も多いものの、前回調査で6.8%であったのに比べると被害は減少しているといえる。次いでハラスメントが約2%であり、これは前回調査の値とほぼ同程度であった。教員からの被害の回答もあり、学生が相談することのできる窓口の周知の徹底等が求められる。



国立大学法人 大阪教育大学

## 9 学務関係事項について

Q59 「大教UNIPAの掲示」を確認する頻度を教えてください。

Q60 大教UNIPA以外で、学生生活に関わる情報の入手先を教えてください。

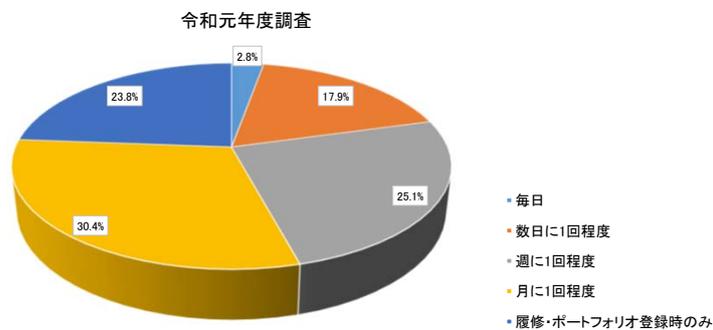
(Q58(学生掲示板), Q61(資格取得状況)集計結果 省略)

国立大学法人 大阪教育大学

Q59 「大教UNIPAの掲示」を確認する頻度を教えてください。

履修・ポートフォリオ登録時のみ確認するとした学生が23.8%であり、約4分の1の学生は日常的には確認していないことが判明した。

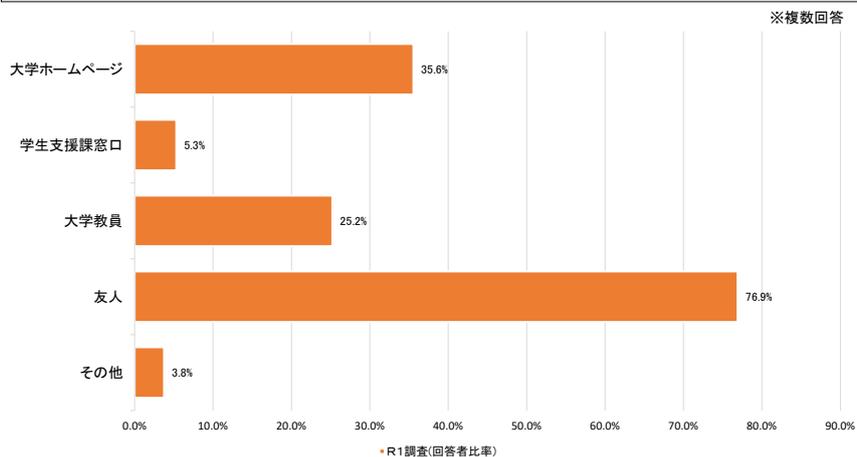
大学生活を送る上で、必要な連絡・案内を見落としたことにより不利益を被ることのないよう学生には毎日必ず1回は確認する習慣をつけるようガイダンス等で指導・周知を図る必要がある。



国立大学法人 大阪教育大学

Q60 大教UNIPA以外で、学生生活に関わる情報の入手先を教えてください。

大教UNIPA以外の学生生活に関わる情報の入手先については、76.9%が友人と回答しており、大学ホームページ35.6%、大学教員25.2%が続いている。  
今やほとんどの学生がスマートフォンやPCを所持しているので、大学ホームページから情報を得る学生が多いのも特徴的なことである。



国立大学法人 大阪教育大学

御協力，ありがとうございました。

国立大学法人 大阪教育大学